

# コロナ禍における女性の負担軽減と 防災備蓄品に関する総点検を要望

2021. 03. 17

公明党春日部市議団

## コロナ禍における女性の負担軽減と 防災備蓄品に関する総点検を要望

3月1日から8日は、女性の健康週間であり、3月8日は国際女性デーでもありました。

今、世界各国で女性の月経に関する「生理の貧困」が問題となっています。「生理の貧困」とは、生理用品を買うお金がない、また、利用できない、利用しにくい環境にある事を指し、発展途上国のみならず格差が広がっている先進国においても問題になっています。この「生理の貧困」解消のために、例えばイギリスでは全国の小・中・高校で生理用品が無償で提供されていると報道されています。また、フランス、ニュージーランド、韓国なども同様の動きがあります。

この問題は日本でも無関係ではなく、先日、任意団体である「#みんなの生理」が行ったオンラインアンケート調査によると、5人に1人の若者が金銭的な理由で生理用品を買うのに苦労した、他の物で代用している等との結果が出ています。また、貧困で購入できないだけでなく、ネグレクトにより親等から生理用品を買ってもらえない子どもたちがいるとの指摘もあります

春日部市において、誰一人取り残さない社会を実現するために、1日も早く、このような女性の負担軽減に取り組んで頂くよう以下要望します。

また、この要望をまとめるにあたり、災害備蓄品の一部点検を行ったところ、法的な使用期限が定められていないために、利用が不安に思える生理用品が見つかりました。災害はいつ発生するか想定できないことから、万が一に備えて、速やかに交換を求めるとともに、全ての災害備蓄品の総点検を要望します。

### 記

1. 防災備蓄品の生理用品を必要な方に配布して下さい。
2. 防災備蓄品の生理用品のローリングストック計画の見直しをして下さい。
3. 配布に関しては利用しやすいように、ネット申請や郵送も可能にして下さい。
4. 防災備蓄品等の食料もあわせて生活困窮者に配布して下さい。
5. 市内の小・中学校や公共施設等の個室トイレで生理用品を無償で提供する事を検討して下さい。
6. 防災備蓄品の紙おむつのローリングストック計画の見直しをして下さい。
7. 防災備蓄品が使用できるものかどうか確認して下さい。

令和3年3月17日

春日部市長 石川良三 様

公明党春日部市議団  
幹事長 栗原信司